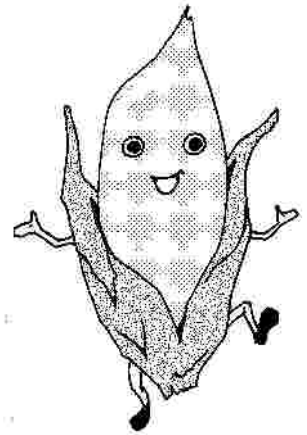


茅ヶ崎里山公園セルフガイド 指導者の方へ



茅ヶ崎里山公園のセルフガイドとは

リーフレットや野外の看板などをたよりにして、来園者が自分達で自然を楽しむ体験プログラムです。看板をみつけるオリエンテーション的な楽しみや、クイズを解き明かしていくようなおもしろさがあります。

場所は？：里山公園内の地図で示された場所（パークセンターと多目的広場周辺）の中で実施します。次ページに地図掲載。

時間は？：時間設定は自由です。所要時間は50分～1時間半を目安にしてください。

時期は？：春編（4～8月）と秋編（9～12月）があります。

対象は？：セルフガイドは3・4年生を主な対象にしていますが、小学生以上であれば、どなたでも楽しむことができます。また、大人の方が一緒であれば小学生未満のお子様でも楽しむことができます。

費用は？：無料です。

どこでもらえる？：パークセンターで直接お渡しします。クリップボードやえんぴつの貸し出しも行っています。団体の方はセルフガイドの用紙を茅ヶ崎里山公園のホームページからダウンロードし、コピーしてお使いください。
茅ヶ崎里山公園のホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/>

セルフガイドのねらい

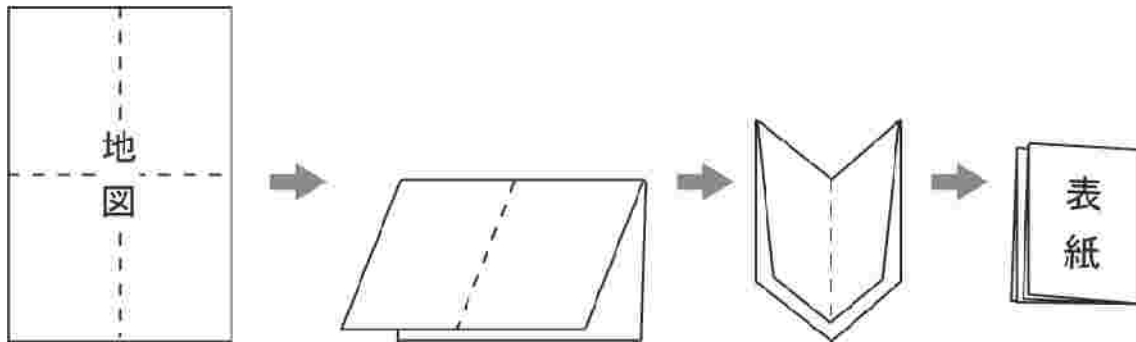
- ・自然の中で過ごすことが楽しいと感じてもらうこと
- ・里山の自然に触れ、里山を知るきっかけとなること

植物の名前など知識を求める問いかけは一切ありません。まずは楽しい体験をすることで、自然を身近に感じられるよう促してください。体験したことが楽しければ、おのずと自然に興味をもつようになると考えています。

活動の前にはすること

やり方の説明をする

- ・用紙をひとり1枚ずつ配る。用紙は直角に2回折って、ブックレット型にします。



- ・見開きページの中心にある地図の範囲と現在地を確認します。
- ・園内には4箇所活動のヒントが書かれた野外看板が設置されているので、まずそれをさがすことを伝えます。看板に順番は付いていないので、どこからでも構いません。
- ・鉛筆など書くものを持って、それぞれで活動します。
指導者が1名の場合は、全員で移動しながら活動してもよいでしょう。
- ・集合して、回答用紙を配ります。

園内での過ごし方について伝える

- ・植物や昆虫などの採取は禁止されています。活動に必要なだけ採取し、それ以上は採取しないことを必ず伝えてください。
- ・なるべくトレール(道)を外れないで活動すること(特に里山の小路)を伝えてください。

集合時間の約束と集合場所の確認をする

セルフガイドの最後には「パークセンターへ行こう」と書かれています。集合場所をパークセンターにしない場合は、必ず確認をしてください。

えんぴつを持った活動。走らないよう注意を促す

えんぴつを持ちながら走るのは大変危険です。時間を競うものではないことを伝え、走らないよう伝えてください。

セルフガイドをやりたくなるような言葉かけをする

マンガの部分(表紙、2・3ページ)を読んでから…「さあ!里山公園の宝物はみつけられるかな?競争ではないから、焦ることはないよ。のんびり楽しみながら、チャレンジしておいで!」

活動中 指導者から子ども達へのアドバイス

基本的に安全を確保しながら子ども達の活動を見守りますが、どうしても困っている子がいれば、そっと背中を押してあげるような声かけをしてあげましょう

以下、「 」内は言葉かけや発問の例です。

空に向けてポーン！：足元を良く見ることで、今まで気づかなかったものを発見できることを知ります。

【やり方のコツ】

- ・ 投げる時は、羽ではなく、丸い種の部分を持って、上方に投げると、くるくると回転しながら落ちる。
- ・ 二つの種がくっついているもの（木についている時の状態）は、離して一つずつ飛ばす。二つ一緒だと飛ばない。

見つけられた？茶色い乾いたものがよく飛ぶよ！」

何回も投げてごらん！ま、風に乗れば、遠くまで飛ばすことができるかもしれないよ。」

お気に入りの落ち葉をさがそう：この活動では「並べる・見比べる」ことで葉の特徴に気づき、違いを見つけることができることを知ります。

- ・ 自分で並び方を考えられない子どもには、具体的なアドバイスをしてあげましょう。例えば、「虫食い（穴）の多い順」「重さ順」「自分が好きな順」など。
 - ・ 子どもから出てきたアイデアは全てが正解です。「いいね！やってみよう！」と活動を促してあげましょう。
- 他の人の並べたものも見てごらん。みんなそれぞれ違っていておもしろいね！」

クリの実のイガ、知ってる？：知っていると思うとよく観なくなる。まだ何かあるかもしれないという思いを持って「よく観る」ことで新しい発見ができることを知ります。

- ・ イガを扱う時は、十分に注意しましょう。

葉っぱのフロッタージュ(こすり出し)：この活動を通して、葉の特徴に気づくことが目的です。

- ・ 葉が動かないように、上から押さえながらこすると上手くできます。葉の全体が難しいければ、葉の縁など部分的にこすりだしても、葉の特徴に気づくことができます。絵が苦手な人でもスケッチができるね！いろいろな葉をこすりだしてみよう。」

どんぐりさがしにチャレンジ！：どんぐりと言っても、様々な種類があることを知り、種類によって特徴が異なることに気づきます。

全部みつけられなくてもいいよ。まずは一種類をさがしてみよう！」

活動後のふりかえり

実践してきたことを「ふりかえる」ための時間をもつ

「一番の正解は『自分でやった』ということ」

すぐにまとめのシートを配るのではなく、子ども達の様子を見ながら、「やってみてどうだった?」「やってみて、気づいたことはあった?」などを問いかけ、何人かに感想を聞いてみましょう。時間があれば、ひとつずつの項目についてふりかえり、最後にまとめのシートを配ると良いでしょう。

2種類のふりかえりのバリエーション

- ・数人でグループを作り、グループ内で発表しあう。
- ・全員の用紙を地面に並べて置き（置き方は自由）用紙を全員で見る時間をつくる。貼り出せる場所がある場合は、後日貼り出すことで、活動を思い出す機会にもなる。

空に向けてポーン!

まず種を見つけれられたかどうかを評価してあげましょう。飛ばして遊んだものがモミジの種であること、種は遠くに飛ぶために羽をつけていることを話してあげてください。（まとめのシートにも書いてあります）

他の木の下でもいろいろな種や実、落ち葉などおもしろい木の落し物がたくさんみつられるよ」

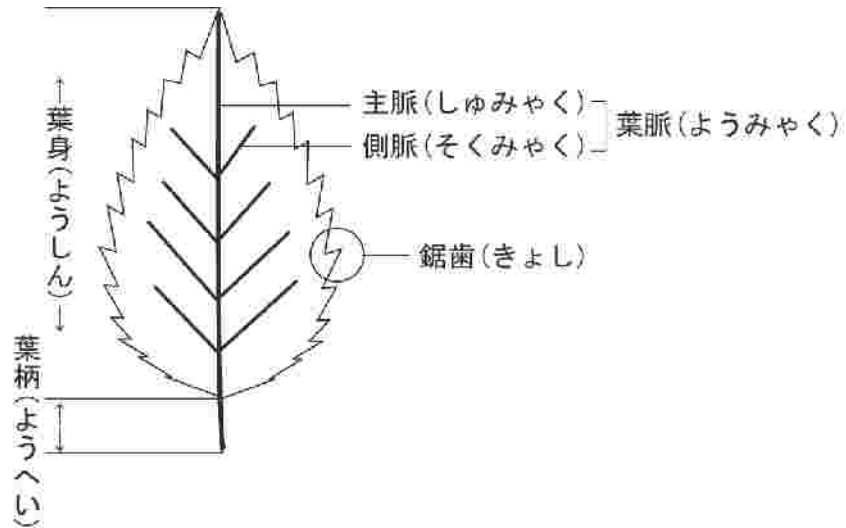
お気に入りの落ち葉をさがそう

葉を並び替えながら気づいたことがあったかどうかを評価します。気づいたことがどんなに些細なことでも構いません。子どもが感じたことを聞き出し、受けとめてあげましょう。



集めた葉っぱの並べ方をいろいろ変えて見比べていくと、1枚ずつでは気づけなかった葉っぱの特徴に気づくことができたかな? 葉っぱの特徴をみつけることができるようになると、図鑑や検索表も使えるようになるよ」

- ・自分で考えた並べ方とやってみて気づいたことを一人ずつ発表してもいいでしょう。
- ・図鑑の読み方に興味を持った子がいれば、今回の活動で触ったり見たりした部分の名称が図鑑ではどのような用語で載っているのか、専門の植物用語を教えてあげましょう。（次ページ参照）



葉脈 (ようみやく)】

葉のすじ。水分や養分の通る道筋であり、平らな葉に強度を持たせる役割もある。

鋸歯 (きょし)】

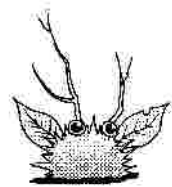
いわゆる葉の縁に見られるギザギザのこと。粗いもの・細かいもの・深いもの・浅いものなどさまざま。鋸歯がない葉は全縁(ぜんえん)という。

クリの実のイガ、知ってる？

予想が当たっていたかどうかではなく、正解を実際に自分の目で確かめられたかどうかを評価します。

名前や形を知っていると思う、案外よ観ることを忘れてしまうもの。身近なものでも注意深く観察すると、新しい発見ができるかもしれないよ」

・クリのイガでオブジェ作りのタイトルを発表しあってもいいでしょう。



葉っぱのフロッタージュ(こすり出し)

丁寧に葉っぱの形をフロッタージュできたかどうかを評価します。やってみて何か葉っぱの特徴に気づいたかどうか、聞き出してあげましょう。

葉脈 (ようみやく)と言われる葉っぱの模様や鋸歯 (きょし)といわれる葉っぱの縁のギザギザは、スケッチするのはとても難しいけれど、こすり出すと簡単に写し出せるね」
 「この方法を使って、一枚の紙に一枚の葉っぱをこすり出して、気づいた特徴を書き込んでいけば、立派なオリジナル植物図鑑が作れるよ！」
 「一枚の葉っぱは何度でも使えるから、配置や色を工夫して、模様作りをしても楽しいよ」

どんぐりさがしにチャレンジ！

みつけ方のヒントを元に、どんぐりさがしにチャレンジしてみたかどうかを評価します。

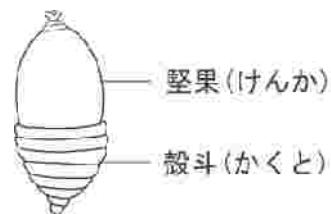
- ・ みつけられた子がいれば、みつけたどんぐりを全員で見ながら、種類によってどのような特徴がみられるかを話し合ってみましょう。
- ・ 拾ったどんぐりをどのように利用できるか全員で意見を出し合うのもいいでしょう。利用しない場合は、どんぐりを食料にしている鳥や動物のためにも公園の土の上に返すよう促しましょう。
- ・ どんぐりに興味を持った子がいれば、3種類のどんぐりについて、お話ししましょう。

【どんぐりとい木はない！？】

どんぐりは「団栗」と当て字で書くが、団は丸いという意味で、丸くて栗のような形から使われたと考えられる。カシやクヌギ、ナラなどのブナ科樹木の果実の総称である。誰もが知っている「どんぐり」だが、「どんぐり」という植物はない。

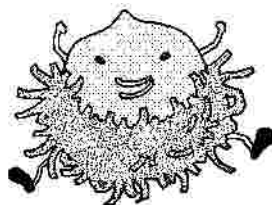
【お皿（帽子）の名前は？】

どんぐりは茶色い堅い殻をかぶった堅果（けんか）とそれを包むようにある部分、殻斗（かくと）からなり、お皿・帽子・パンツ・おわん等と呼ばれるのは殻斗のことである。殻斗は若い時期の堅果を昆虫や菌類から守る役目があるとされている。どんぐりの名前を調べる時には堅果と殻斗を1対にしてそろえる必要がある。




【丸っこいどんぐりの形はどんぐりの繁殖戦略だった！】

「どんぐり知ろころ どんぶり知〜」、童謡「どんぐり知ろころ」(青木存義作詞・梁田貞作曲)の歌にあるように、どんぐりは丸くて、ころがりやすい形をしている。それは、分布域を広げるため、少しでも遠くに種子を散布しようとする植物の繁殖戦略。どんぐりは斜面をころがるのに適した重力散布型である。また、どんぐりは高カロリーで、ノネズミ類やリス、ムササビ、カケスなどの大好物である。それらの動物が食料にするためにどんぐりを遠くに運び、埋めたものが忘れられたり、食べ残されたりすることで繁殖する動物摂食散布型でもある。



公園で見られるどんぐり】

どんぐり	種名	殻斗の特徴	どんぐりの特徴	常緑樹・落葉樹
	ブナ科 コナラ属 アカガシ	横縞状 厚みがあり、毛が多い	大型(1.5～2cm)	常緑樹
	ブナ科 コナラ属 アラカシ	横縞状 浅いおわん型	小さい(1～1.2cm) もっとも丸っぽい	常緑樹
	ブナ科 コナラ属 シラカシ	横縞状 深いおわん型	中型(1.3～1.5cm) 先はやや丸い	常緑樹
	ブナ科 ブナ属 クヌギ	どげ状	堅果は丸い	落葉樹
	ブナ科 シイ属 スタジイ	先が2～5つに割れる	褐色 中型(1.2～1.8cm)で細長	常緑樹
	ブナ科 コナラ属 コナラ	うろこ状 ほとんどふくらまない	中型(1.5～2cm)で細長	落葉樹

参考資料：『日本どんぐり大図鑑』徳永桂子 偕成社、『どんぐりノート』いわさゆゑ 文化出版局

指導者の方の役割 < 3つの「う」>

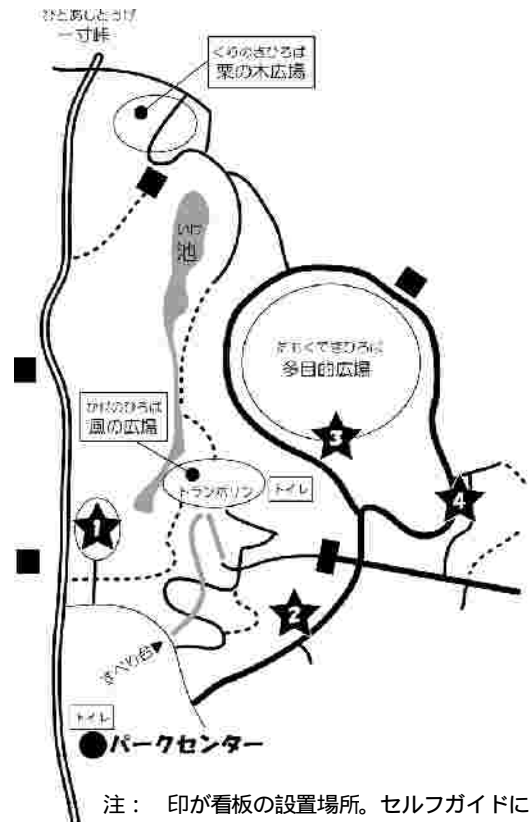
うながす・with(ういず)・受けとめる

指導者の方は子ども達が自らの意思で動くよう働きかけ(うながし)、活動と一緒に楽しむ(with)、個々の活動の成果をほめてあげてください(受けとめる)。

補足資料：4つの看板の設置場所と内容

看板の内容(=ヒント)は、活動しやすい場所を知らせている、というもの。おすすめの活動場所は一箇所に限っていません。例えば、自然のぬりえは看板1・2・3のいずれでもおすすめの活動場所として紹介しています。

看板1



注：印が看板の設置場所。セルフガイドに掲載された地図には印のみで印の中に看板の番号は入っていません。

看板2

春編のヒント：この辺りは触りやすい木や草がたくさんあるよ。自然のぬりえや タンポポの花のヒミツ、 本当にある？をやってみよう！

秋編のヒント：木の下にたくさんの落ち葉があるね。お気に入りの落ち葉をさがそう、葉っぱのフロッタージュは、ここでやるのもおすすめ！ のどんぐりもこの辺りに…？

看板3

春編のヒント：広場にはやわらかい草やタンポポがたくさんあるよ。自然のぬりえ、タンポポの花のヒミツは、この広場でやってみるといいかも！ どれかひとつ、やってみようは、絶対ここがおすすめ！

看板4

春編のヒント：この辺りは静かな場所。音さがしがおすすめ。触りやすい木がたくさんあるので、本当にある？もやってみよう！

秋編のヒント：木の下にたくさんの落ち葉があるね。お気に入りの落ち葉をさがそう、葉っぱのフロッタージュは、ここでやるのもおすすめ！ のどんぐりもこの辺りに…？

【発行・お問い合わせ】指定管理者 公益財団法人 神奈川県公園協会
 県立茅ヶ崎里山公園パークセンター
 〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢 1030 TEL：0467-50-6058 FAX：0467-50-6358
 HP：<http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/>